

ながおか

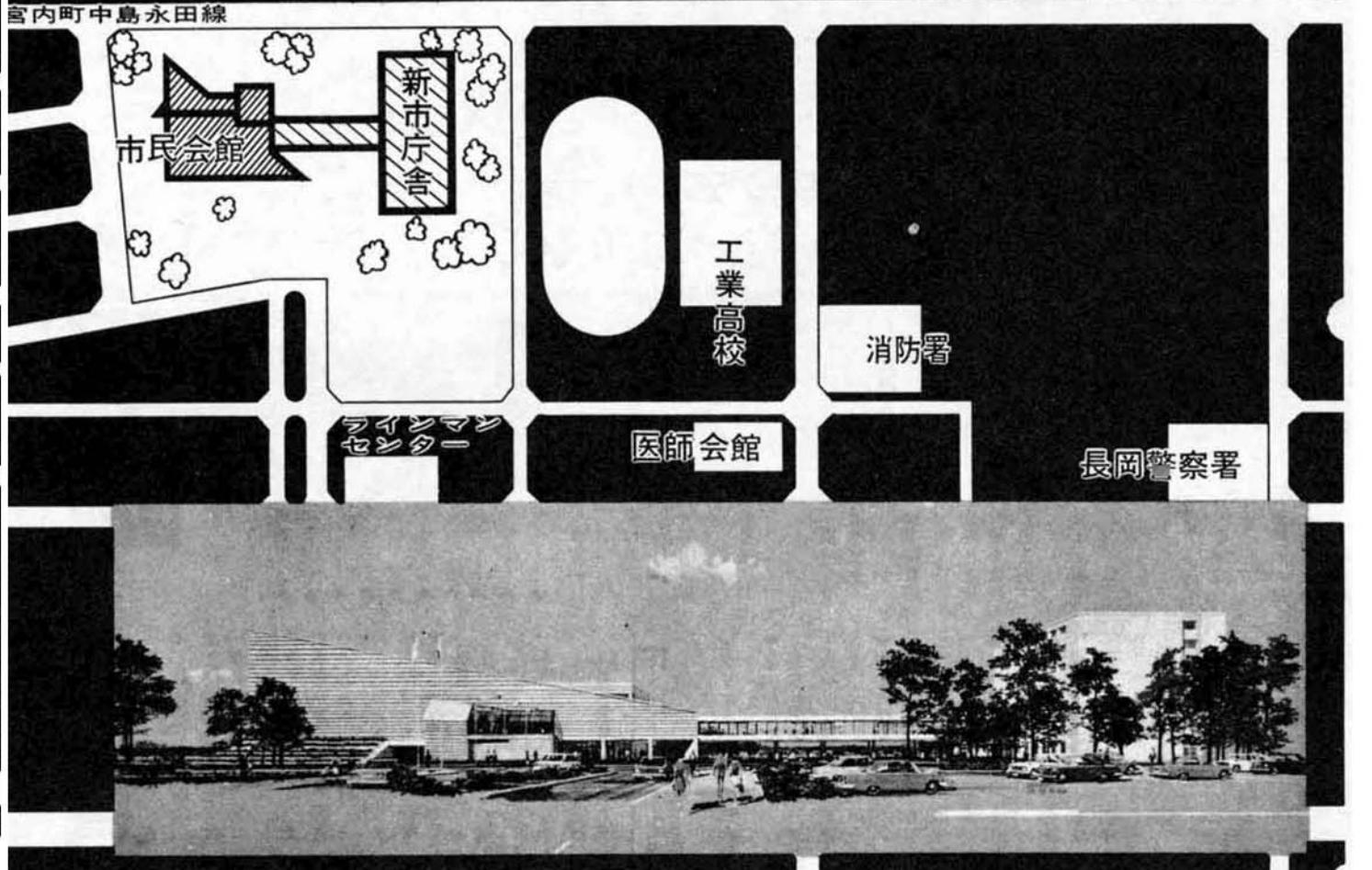
市政だより

3月 (No.211)

編集・発行/長岡市広報課 (電話35-1122) 昭和47年3月1日

一おもな内容一

- | | |
|------------------|------|
| 昭和47年度予算案 | 2. 3 |
| ごみの出し方 | 3 |
| 水道料金改訂案、16万市民の声 | 4 |
| カメラ・ニュース、新しい民生委員 | 5 |
| 労働会館完成、ふるさとの言い伝え | 6 |
| もうすぐ一年生、東西南北 | 7 |
| お知らせ | 8 |



新市庁舎も幸町2丁目に

去る2月14日に開かれた臨時市議会で、新しい市役所の建設位置を「幸町2丁目7番地1」にするという条例改正が可決されました。

現在の市庁舎は、昭和30年10月に完成したものですが、昭和29年から35年にかけて行なわれた周辺15か町村を合併したことによって、建設後わずか数年で狭隘となり、事務処理に支障をきたす状態になりました。

このため、昭和35年には社会福祉事務所を城内町3丁目へ、同じく教育委員会を本町4丁目へ移転しなければならなくなりましたが、さらに、昭和43年には西千手分室を、また、翌年には環境衛生課を寿3丁目の環境衛生センターに移し、三和分庁舎を建築して建設部の全部を移転しています。

このほか厚生会館分室にも分散していますが、この

ように、現在の市庁舎は、市の執務体制上からも極めて不便であり、来庁される市民のみなさんにも大へんご不便をおかけしているのが実情です。

そこで、市庁舎の建設時期は先になるとしても、まずもって建設位置の決定と用地の確保に努めてまいりましたが、このほど、その建設地として幸町2丁目地内の市民会館建設地に隣接する土地33,100平方メートル(約1万坪)が決定したものです。

なお、この条例の改正は、将来新しい市庁舎を建設する場合の位置が決定されたもので、具体的な市庁舎の建設計画は、財政計画ともあわせて十分検討しなければなりませんので、今後も市民みなさんはじめ市議会とも密接に連絡をとりながら進めてまいります。

一カットは、市民会館および新市庁舎の位置図と完成予想図

広報カレンダー お知らせ

八二二)にご連絡ください。

訓練期間中保険金の外技能習得手当が支給されます。その他の人にも一ヶ月約二万五千円の手当が支給されます。

公害問題セミナーを継続して開催しています。今月は次の日程で開催しますので企業、工場関係者はもちろん、多数のおでかけをお待ちしています。

公害問題セミナーを継続して開催しています。今月は次の日程で開催しますので企業、工場関係者はもちろん、多数のおでかけをお待ちしています。

公害問題セミナーを継続して開催しています。今月は次の日程で開催しますので企業、工場関係者はもちろん、多数のおでかけをお待ちしています。

テレビ・ラジオ放送ご案内

- T V 「長岡市だより」
第2・4・5日曜日午前8時15分から15分間
- 3月12日: 信濃川の河道改修計画
- 3月26日: もうすぐ「一年生
- B S N 新潟放送テレビ(VHF 5ch) 毎週日曜
午前9時44分から1分間
- B S N 新潟放送ラジオ(106.0kHz) サイクル

市では精神薄弱者(児)の援助、福祉施策の一環として長岡市出身の精神薄弱者(児)を一年間雇用されている事業主の方に職業及び雇用奨励委託料を交付します。該当される方、または内容を知りたい方は社会福祉事務

精神薄弱者(児)雇用主に
委託料交付

47年度予算案 総額九五億円の大型に

重点は 高速時代に対応するまちづくり

長岡市の昭和四十七年度予算案がこのほどまとまり、三月十日から始まる予定の三月定期市議会に提案されます。これによると、一般会計の予算額は六十九億四、六〇〇万円（前年度当初予算にくらべ約五〇%も減収となる見込みである。このような自主財源の伸び悩みという現実の中、算に九億七、二七〇万円の増加、伸び率一六・三%）。水道事業会計・特別会計は、二五億八、三九三万三千円で、合計予算総額は、九五億二、九九三万三千円となります。

この予算案は、●昨年来の不況によって市民税収入が伸び悩み、とくに法人税は四十六年度に比べて約五〇%も減収となる見込みである。●このような自主財源の伸び悩みという現実の中、など考慮して編成しました。このため、道路・生活環境の整備や明るい市民性を培うためのいろいろな施策に重点的・効率的な予算配分をしております。以下、四十七年度重点施策の中から、そのおもなものを紹介します。――内は、予算額です。

市民会館、建設に着手

学校建築 神田小など九か校



市民会館の建設

待望の市民会館がよいよ着手

四十八年の秋には完成します。固

こに着手します。建設工

47年度 重点施策

市道の整備を最重点に

中小企業不況対策資金も増額

1. 道路の整備

・都市計画街路をはじめ、市道の新設、改良、舗装を進める。・長岡東バイパスの用地を先行取得する。

2. 生活環境の整備

・下水道整備事業を促進する。・工事中のし尿処理施設を完成させる。

3. 市民会館の建設

・市當住宅を建設する。

4. 教育の充実

・学校建築を促進する。・学校用地の買収を行なう。

5. 社会福祉の増進

・子どもの遊び場を設置する。・老人・身体障害者家庭奉仕員を増員する。

6. 産業の振興

・中小企業預託金を増額する。

・信濃川左岸排水事業を進める。

・棲セントラルの浄化槽を増築する。

7. レクリエーションの拡大整備

・総合グラウンドの基本計画を作成する。

・学校開放を拡大する。

・西山の観光開発を進めます。

『道の整備』

上越新幹線や北陸、関越両自動車道、国道八号、長岡東バイパスなど、高速幹線交通網の整備に応じるため、市道の整備を最重点としました。

また、舗装は前年に引き続いて

とくにB地区に重点を移して行ないます。

『教育の充実』

教育の充実強化、とくに学校建築は、これまで市政の最重点として取り組んできましたが、四十七年度においても、教育環境を整えるため最善の努力を尽くします。

また、舗装は前年に引き続いて

とくにB地区に重点を移して行ないます。

『住宅建設』

市道の整備に着手する。

市當住宅を建設する。

『中小企業不況対策資金も増額』

積二、四二ha)に對して、市が

総額四、一三五万円を事業の計画

に合わせ年次ごとに負担し、事業

の促進を図ります。【四五〇万二千円】

千円】

『生活環境の整備』

下水道整備事業の促進

・下水道整備事業の促進

『産業の振興』

中小企業預託金の増額

昨年十二月に創設した不況対策特別融資制度は非常に好評でしたので、さらに運用額において二億円を追加し、総額四億円とします。また、小規模事業者創立制度を新設、七五〇万円で運用します。【二億七、〇〇〇万円】

信濃川左岸排水事業の促進

県営で行なうこの事業（総事業費一億九、一〇〇万円、受益面

・総合グラウンドの基本計画を作成する。

・学校開放を拡大する。

・西山の観光開発を進めます。

・地城保育所・私立保育所への援助費を増額する。

・老人・身体障害者家庭奉仕員の待遇を改善する。

・西山の観光開発を進めます。

・総合グラウンドの基本計画を作成する。

・学校開放を拡大する。

・西山の観光開発を進めます。

・地城保育所・私立保育所への援助費を増額する。

・老人

